

『メンタリングコース』

研修生募集中

公募期間：令和5年7月10日～12月15日 17:00迄

メンタリングコースとは

共同研究、技術移転、産学連携に係る実績を積んだ技術移転メンターからの個別指導（メンタリング）による研修生自身の「実務の課題」の解決を目指し、研修生主体で計画を立てて取り組む研修です。

メンタリングコースの特徴

- 1) 研修生の実務スケジュールに合わせて計画的に個別指導が受けられます。
- 2) 共同研究、技術移転、産学連携に係る経験と実績を積んだメンターです。
- 3) 希望メンターの指名、複数メンターからの指導が可能です。
※都合により希望に添えない場合があります。
- 4) 解決のための具体的な知見、対応策を習得でスキルアップできます。



公募情報

申込み方法 以下URLよりお申し込みください。

https://www.jst.go.jp/innov-jinzai/program/tt/koubo_mentoring_kenshu.html

募集対象者

技術移転、共同研究、産学連携に係る業務において「実務の問題」を抱え、解決したい方で、以下1) 2)の要件を満たしている方。

- 1) 大学等に所属するコーディネーター、URA等の専門職又は事務職員で、技術移転、共同研究、産学連携に係る実務経験がある方。
- 2) 技術移転、共同研究、産学連携に係る基本的なスキルを習得できる研修を修了している方。

例：JST/目利き研修、UNITT、INPIT、医療分野の成果導出に向けた研修（AMED）、日本知的財産協会研修等

募集人員 10名程度

募集要項

https://www.jst.go.jp/innov-jinzai/program/tt/dl/r05_mentoring.pdf

コース概要

研修期間

令和5年7月10日～令和6年2月29日の間でJSTメンターと研修生が協議し決定します。

研修時間

8時間以上40時間以下
※令和4年度メンタリング時間平均：9時間00分

実施方法

zoom等のオンライン、直接面談、メール

費用

無料

JSTメンター

以下の実務課題領域に対応した7名のメンターが対応します。

- | | |
|------------------------|-----------------------|
| ①研究シーズの発掘・組み合わせ | ⑥共同研究計画の提案
(学内・企業) |
| ②研究シーズの権利化 | ⑦学内チームづくり |
| ③市場調査・先行技術文献調査 | ⑧契約交渉 |
| ④共同研究候補企業及び企業
ニーズ探索 | ⑨プロジェクトマネジメント |
| ⑤プロジェクト企画・事業化企画 | ⑩その他 |

JSTメンター紹介

<https://www.jst.go.jp/innov-jinzai/program/tt/course2/mentor.html>

事例紹介

研修生の業務	研修時期 (研修時間)	実務の問題	結果
契約活動	令和4年 (8時間)	専門分野での契約実務においてのリスク等の理解が不足。	ニッチな専門分野ではあったが、メンターのアドバイスをもとに、契約に向けてのチェックリストや判定フローチャートを明文化でき、抱えていた不安が解消された。
知財および関連する契約業務	令和3年 (14時間)	担当している契約案件について、条件等が折り合わず膠着状態に陥っていた。	自分なりの独自の業務遂行指針や相場観的なものについても、それがおおよそ妥当そうなものであるのか否かを確認できた。周囲に相談できる同僚等がない中で、迷いながら、自信がもてないまま独自に業務を遂行してきたが、一部については自信を持つことができた。
発明等の事務	令和1年 (12時間)	研究者の発明を導出したいが、研究の理解が困難で、企業へのPR方法がわからない。	研究者へのヒアリングポイント、企業への研究のPRポイントとPRシート作成のアドバイスをいただいた。企業とのネットワークが広いメンターからのマーケティングに向けてのアドバイスで、方向性を明確にできた。